

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成14年12月期)

水質概要

12月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層8.8、中層9.1、下層9.3)と比較して全体的に1.5程度低い分布を示した。図1に示すように、12月の水温は6.3~9.3で変動しており、12月上旬から水温が低くなる変動を示していた。水深による顕著な差異は見られなかった。

12月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層6.8psu、中層8.4psu、下層9.2psu)と比較して1.4~2.5psu程度高い分布を示した。気圧の低下が見られる17日付近では、高塩分水塊の流入が見られた。また、気圧が高い20日~24日では、高塩分水塊の流入は見られなかった。

12月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおりほぼ5~10mg/lの変動であった。(平均値:上層7.6mg/l、中層:7.1mg/l、下層:8.5mg/l)

表1 12月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		()	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	9.3	10.4	6
	中層	9.3	13.5	4.9
	下層	9.3	11.7	6.4
中旬	上層	6.5	9.2	8.4
	中層	6.7	10.6	9.5
	下層	6.9	13.2	9.2
下旬	上層	6.3	8.5	8.2
	中層	6.4	8.7	8.3
	下層	6.5	10.9	9.7
月間平均 (12月)	上層	7.3	9.3	7.6
	中層	7.4	9.8	7.1
	下層	7.5	11.9	8.5

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

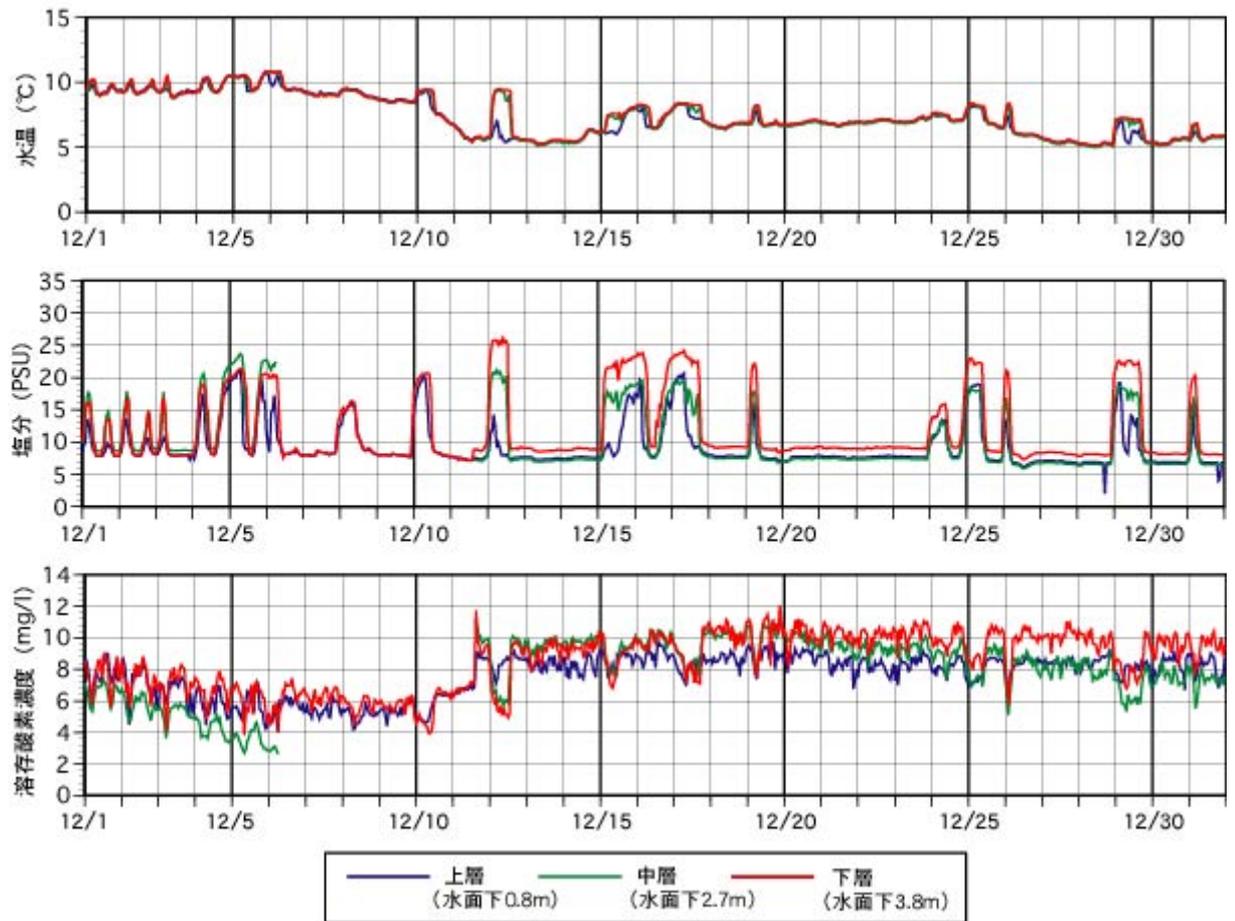


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

図2に示すように、12月の気圧変動は、全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1015.8hPaは、平年値(平年値1020.6hPa)と比較して低かった。

表2に示すとおり、12月の日射量は、0.0232MJ/m²であり、11月と比較して低い値を示していた(11月平均値:0.0360MJ/m²)。

12月の風向・風速は、平均風速3.5m/sec(平年値3.6m/sec,西風)であり、平年並の値と比較して低かった。

表 2 12 月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	8	1014.2	3.7	南	0.0259
中旬	6.4	1019	3.5	南	0.0243
下旬	5.8	1014.3	3.4	南南西	0.0198
月間平均 (12月)	6.7	1015.8	3.5	南	0.023

(平年値は、平成 13 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

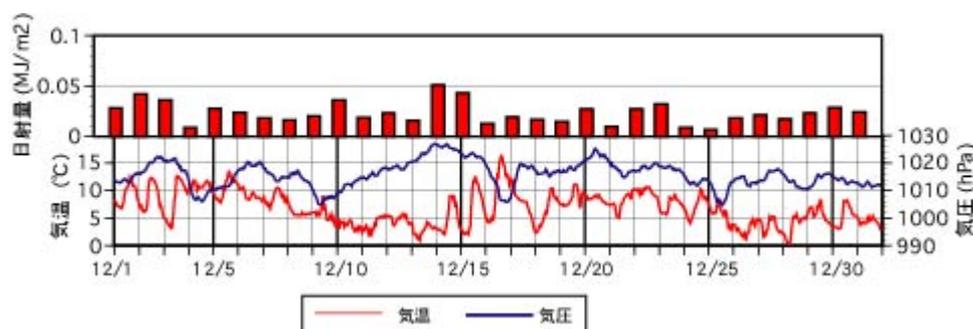


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

12 月の平均東方流速は、上層 12.5cm/sec、中層 12.3cm/sec、下層 11.8cm/sec であった。西方流速が卓越する 11 日は、高塩分水塊の流入が見られるが、東方流速が卓越する 26 日～29 日は、高塩分水塊の流入は見られなかった。

12 月の東方流速は、潮汐による往復流が見られた。

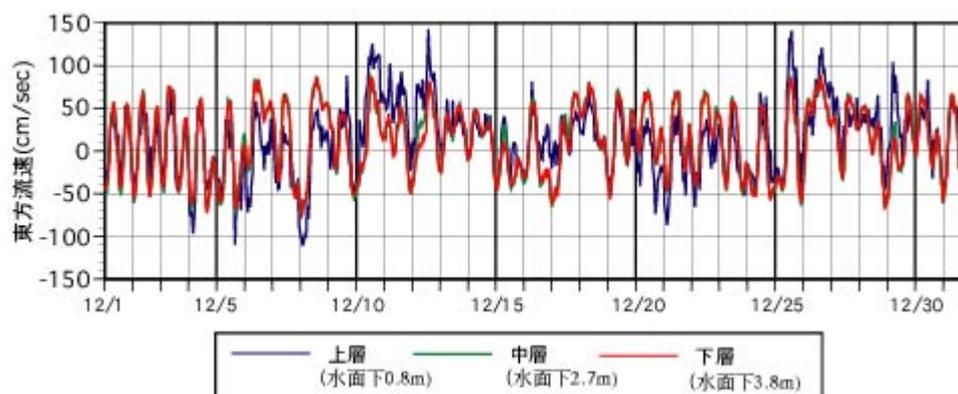


図 3 東方流速の時系列変化
